

中山金杯

中山金杯は古くから有馬記念と血統傾向が似ます。

2000年の有馬記念はオペラハウス産駒のテイエムオペラオーが優勝。
1-4着馬は父ノーザンダンサー系。3着は13人気のダイワテキサス。

翌年2001年の中山金杯は同じくオペラハウス産駒の
カリスマサンオペラが8人気で優勝。
2-4着も父はノーザンダンサー系。2着クラフトマンシップは10人気。
父フレンチグローリーはオペラハウスと同じサドラーズウェルズ系。
3着シンボリオレゴンもノーザンダンサー系で11人気。

昨年の中山金杯勝ち馬レッドガランは母父がシンボリクリスエス。
シンボリクリスエスの孫。前年の有馬記念を勝ったエフフォーリアも
シンボリクリスエスの孫。

ノーザンダンサー系同様ロベルト系が強いのも
古くからの有馬記念と中山金杯の血統傾向。

一昨年の中山金杯勝ち馬はヒシイグアス。
父はハーツクライ。前年の有馬記念勝ち馬リスグラシューもハーツクライ産駒。
母方に有馬記念勝ち馬サクラローレルを出したレインボウクエスト。

別に有馬記念と似るといよりも、
年末年始の中山芝はJRAで要求される主流スピードよりも
欧州指向の血統馬が走りやすいというのが基本構造ですが、
中山金杯から最新の古馬混合の中距離重賞が有馬記念でもありますので、
参考にはなりますよね。

本命はフェーングロッテン。

父ブラックタイド。母系にサクラバクシンオー。
昨年の有馬記念を勝ったイクイノックスの父で自身も有馬を勝った
キタサンブラックもブラックタイドとサクラバクシンオーの配合馬。

母父キングハイローもイクイノックスの母父。
自身も皐月賞 2 着。開催が進んだ中山芝巧者。
前走は 1000m57 秒台のハイペースを追走。
前々走、3 走前も 2000m 以下に出走。
速いペースを経験し続けているのも当レースでは有利。

マテンロウレオは母ロベルト系とダンチヒの配合馬。
同パターンの配合にグラスワンダー。
昨年未の有馬記念の 2、3 着もグラスワンダー系。
年末年始の中山芝重賞に強い血統。

相手は同レースの血統、戦歴傾向に合う
ラーグルフ、アラタ、マテンロウレオ。

ラーグルフはグラスワンダー系。

どちらも上位評価ですが、マテンロウレオがあまりにも
同コースで結果が出ていないのでラーグルフを上位に。

当レースは前走好走馬が走りやすいですが、凡走組なら G1 組。

2 クリノプレミアム、12 ウインキートスは当レースに相性の良いステイゴールド系。

ウインキートスは兄が当レースで複数回馬券になったウインイクシード。

京都金杯

一昨年の当レースは 1、2、4、5 着がグレイソヴリン系持ち。
1-5 着がすべて 3 コーナー5 番手以内。1、2 着は 4 番ゲートより内。

今年はベレヌス、アルサトワが前走 3 コーナー3 番手以内。
ピースワンパラディも 2 走前は 3 コーナー3 番手以内。
いずれもグレイソヴリン系持ち。

本命はアルサトワ。

前走は前々走の反動に加え馬場も不利。
近親のダイワメジャー産駒が NHK マイル C2 着のマテンロウオリオン。

相手もベレヌスとピースワンパラディ。
そして前出のマテンロウオリオン。

プレサージュリフトは特に内枠は乗り難しい馬。
前に行くと持ち味出せませんし、後ろからだ展開不利の可能性も。